

SOS ニュース

< 職場のトラブルとメンタルヘルス >

『サラリーマン心の病急増・・・社員の休職、会社のコスト計算』

8月22日の朝日新聞デジタルに、心の病による受診件数はリーマン・シックのあった08年度は1千人あたり延235件だったが、3年後の11年度は280件と19%増えている、という厚生労働省がまとめた医療保険の利用状況調査をもとにした推計を報じている。

これに関連して、少し前の読売新聞に載った社員の休職にかかる会社のコスト計算について見てみると、企業にとって単純に見過ごすことが出来ない現実が想起される。これは三井住友海上火災がメンタルヘルス事業を手がける企業と共同開発したものとしているが、多くの場合勤務時の給与より多くの費用がかかるという。休職者への給与補償、穴埋めの人材の補充費用、職場に与えるストレスで影響する生産効率等、例えば年収600万円の社員が1年間休職したケースでは、企業の負担は給与よりも約325万多い約925万円になるとしている。逆にメンタルヘルスの休職者を減少させることが会社の生産性をあげる事につながるという事になる。

※ 参考：H25.8.22 読売新聞より